

椎の木

令和 2年 5月26日
庄小学校 石田 和成



本格的な授業が再開しようとしています。昨年度3月の臨時休業に入る前までさかのぼって、お子さんの学習内容の理解度を確認しながら、新学年の教科書の最初から（4・5月の学習内容）授業を再スタートさせています。臨時休業中は家庭での学習にご協力頂き、有り難うございました。

各学級担任も目標がないと各教科の学習計画を立てにくいので、夏休みの中の授業日も含めて2学期が始まるまでに、1学期の学習内容を終わらせることを目標の目安として授業を進めていきます。（あくまで目安で、各学年のお子さんの学習の理解度に応じて、授業の進度を調整します。）夏休みの授業日は決まり次第お知らせします。

☆6月4日（木）朝の登校時より、通学路が変更になります。

8号線が新しい平面の車線に切り替わり、押しボタン信号の横断歩道で横断します。詳しくは裏面をご覧ください。初日の登下校時は誘導員が立って、道案内をします。

☆休み時間の体育館と図書室の密集を避けるため、長休みと昼休みのそれぞれに1学年ずつの使用割りを決めて、1回に1学年だけ使用するようにします。休み時間に体育館で使用するボールも、毎回消毒液で拭きます。

☆5・6年生が7月に行っている「緑の生活体験学習（合宿）」は、今年度は大杉みどりの里で行う計画でした。秋に延期することも含めて学校行事を見直した結果、今年度の合宿は中止することにしました。ご了承ください。

☆6月1日（月）に布マスクをお子さんに持ち帰らせます。IROHA合同会社（一般財団法人あくるめ、加賀市女性協議会、加賀おやこ劇場）から市内の小中学校に寄付されたものです。各会員の方々が手作りされました。

教室のようすです

右の写真は6年生18名の授業のようすです。本校は人数が一番多い4年生でも22名なので、教室内で前後左右1m以上の間隔を空けて机を配置することができます。5月の分散登校時は、登校していない学年の教員も授業に入り、1学級教員2名体制でお子さんの学習がスムーズにスタート出来るように支援しました。



☆サポート教員として今年度は、加賀市内の小学校や教育委員会を歴任され、錦城中学校校長を務められた網谷豊先生が、火曜・水曜・木曜の3日間来られます。国語、算数を中心に担任と共に授業に出て、お子さんの学習の支援をしていただきます。

文部科学省がQ&A形式で示しているガイドラインの一部です。日々改訂されています。

問35 各教科等の指導について、感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高いため、実施することができない学習活動についてはどのようなものがあるか。【更新】

- 各教科等の指導について、以下に掲げるものなど感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動については、当分の間、これを行わないようにしてください。
 - ・音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動
 - ・家庭科、技術・家庭科における調理等の実習
 - ・体育科、保健体育科における児童生徒が密集する運動や児童生徒が近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動
 - ・児童生徒が密集して長時間活動するグループ学習
 - ・運動会や文化祭、学習発表会、修学旅行など児童生徒が密集して長時間活動する学校行事

- なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続している地域においては、当分の間、上記の学習活動ができない可能性が高いことを踏まえ、指導順序の変更や、教師による適切な事前・事後指導と家庭における学習の組合せによる指導計画の立案など、各教科等の指導計画の見直しを検討し、必要な措置を講じてください。

問37 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続していない地域における学校においても、感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習指導は実施できないのか。【新規】

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続していない地域においては、当該地域の感染状況を踏まえた適切な感染症対策を講じた上で、学習指導を行っていただきたいと考えています。その際、「感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動の例」において示した飛沫が飛ぶことを防ぐ、長時間の密集状態を避けるなどの観点について、必要な範囲で参考にさせていただきつつ、各種の学習活動を行っていただくことを妨げるものではありません。

- なお、学校再開ガイドラインに示す感染症対策を十分講じた上で、各教科等に共通する感染症対策として、
 - ・共用の教材、教具、情報機器などを適切に消毒する
 - ・共用の教材、教具、情報機器などを触る前後で手洗い・除菌行為を徹底するなどにも併せて取り組んでいただきたいと考えています。

その他いろいろな指針が、文部科学省のホームページで公開されています。5月21日には体育時のマスクの取り扱いなどについて、22日には水泳についての指針が示されました。全国、地域によって感染拡大の状況が違います。また、加賀市内でも学校により1学級や学年の児童数が違います。加賀市内のコロナウイルス感染状況を見ながら、加賀市教育委員会及び市内の各学校と相談しながら、具体的な教育活動を決めています。

☆本校は1学年最大22名で、体育館に換気扇があります。体育の授業は、窓を開け換気扇を回しながら、マスクなしで児童の間隔を1m以上とり、対面したり組み合ったりせず、息が上がって呼吸が荒くならない内容で行います。

☆運動場で密集しないようにして、マスクなしで「走ろう運動」を再開します。

☆水泳の授業ができるように、プールの準備はしておきます。(水泳が可能になっても、夏休みの授業日によっては、夏休み中の自由水泳は中止になるかもしれません。)

